



健康小ばなし10笑

今年も一年健康で過ごしたい。笑いが健康に効果あるというが、健康だから笑える。

- ① 笑いの「オチ」が、落ちている免疫機能を正常化させる。
- ② 笑いの「サゲ」が、血圧を下げ、ストレスがなくなる。
- ③ そして、血糖値を下げ、糖尿病にならず、気分が落ちつきます。

そこで、今回は小咄をお届けし「くすり」と笑っていただこうと思います。

| | |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>一 笑</p> <p>いっしょうけんめい (一笑懸命)</p> | <p>あるタバコメーカーが「絶対に肺がんにならないタバコ」を発売。その発表記者会見で、記者が興奮気味に質問した。</p> <p>「いやあ画期的ですねえ、これぞまさに世界中の喫煙者が待ち望んでいた夢のタバコですね。一体 この絶対肺がんにならないタバコには、どんな秘密があるんですか？」</p> <p>「はい、このタバコ、絶対に火がつかないんです」</p> |
| <p>二 笑</p> <p>しょうにやつか (笑ニヤツ科)</p> | <p>最近の世のスモーカー亭主達は、家の中ではタバコを吸わせてもらえない。</p> <p>「あなた、タバコ吸うんなら家の外に出てちょうだい！」</p> <p>「どこにも住める場所がないよ。俺はどこで、スモーカー・・・」</p> |
| <p>三 笑</p> <p>ばんざいさんしょう (万歳三笑)</p> | <p>缶コーヒーは種類が多くてよく分からない。店番のお婆ちゃんに聞いても耳が遠くて聞こえない。</p> <p>「すみません、これ、無糖ですか」</p> <p>「はい??？」</p> <p>「だからあ、無糖なの加糖なの、それとも微糖なの？」</p> <p>そうしたら、ちょっとムツとして</p> <p>「あたしゃ、武藤でも加藤でも尾藤でもなく伊藤ってんだけどね」</p> |
| <p>四 笑</p> <p>かふんしょう (花粉笑)</p> | <p>「先生、花粉症がひどくなりまして」</p> <p>「あなた、いろんな花の花粉にアレルギーがありますなあ」</p> <p>「今は、花のそばには近づかないようにしてるんです」</p> <p>「あなたのようにひどい方は、活け花にも気をつけなさいよ」</p> <p>「ええ、そんなものにもアレルギーが出るんですか」</p> <p>「もちろんです。こういうのを、カピンショウというんです・・・」</p> |
| <p>五 笑</p> <p>ごしょうだいじ (五笑大事)</p> | <p>最近病院へいきますと、待合室に病人がいっぱい。本当に病気の方もいるが、なかには毎日病院に通うのが習慣になっている方もいるそうで。</p> <p>「なあ、およねさん」「ハイ、ハイ」</p> <p>「最近、おきくさんの顔、見ませんが、おきくさん、どうしてます？」</p> <p>「ああ、おきくさんね、ちょっと体調が悪いそうで、家で寝ているそうで」</p> <p>「ああそうですか、早く元気になって病院へ来たらよいのに・・・」</p> |



| | |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>六 笑 わら しょうか (笑いま笑科)</p> | <p>目は口ほどにものを言いといって、目は情報の宝庫です。良い医者はやたら検査をする前に、まず患者の目元を見るものです。 「あのお医者さん、行くとね、まず目を見てくれるのよ」 「ああ、あの先生、名医だって評判だよ。良い医者は、まず患者の目元を見るそうだ」 「じゃあさあ、悪い医者って、どんな医者なの」 「まず患者の、足元を見るんだ」</p> |
| <p>七 笑 こつそしょうしょう (骨粗鬆笑)</p> | <p>毎日の運動の積み重ねは骨粗鬆症の予防には大切なんです。 「そんな暇はない、骨が折れますね」 「いえ、少しずつでいいんです。だって骨のことだから、コツコツやるのがよろしいようで・・・」</p> |
| <p>八 笑 わら せんか (笑いま専科)</p> | <p>「先生、ちょっと腕（うで）が痛いんで見て下さい」「どの辺じゃ？」 「この腕の、この辺、関節のあたり・・・」 「うーん、ここか、少しひどいなあ」 「痛み止めの注射を打って頂けますか」 「ここは注射はダメじゃ」「どうしてですか？」 「曲がり角はチューシャ禁止ですから」</p> |
| <p>九 笑 しょうがいぐしゅう (笑涯楽習)</p> | <p>「先生、右足が痛いんです」 「それは、年です」 「でも、左足は同じ年ですけど痛くないです」 「そのうちに痛くなります」</p> |
| <p>十 笑 しょうきゅうしん (笑休止ん?)</p> | <p>「先生！」「どうしたんですか？」 「声が出ないんです」「出てますよ」 「おじいちゃん、食欲はありますか？」「はい先生、おかずによります！」 「頭痛はしょっちゅうですか？」 「あ、たまに！」 「胸を押さえてますが、どこか悪いんですか？」 「はい！」 「お口の中、痛みますか？」 「ハー！」</p> |



「先生、余命一か月と聞きました、手術代 100 万円はとても今月中に、払えそうもありません」
「よろしい、では余命半年にしましょう」



「もし、この薬が効かなかったら言ってください。もっといい薬をあげます」
「それなら先生、もっといい薬の方を先にください」

「君太ったね」
「ええ、デブ症（出不精）なもので・・・」

「この薬は、必ず痛みがはじまる 30 分前に飲んでください。必ず痛みがとれます」
「・・・？」

「呼吸をすると、ひどく傷むんです」
「それなら、それを止めるものをあげましょう」